

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育ケアMARINE RAINBOW 久留米高校前			
○保護者評価実施期間	令和6年9月10日 ~ 令和6年12月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和6年9月10日 ~ 令和6年12月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月17日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団療育と専門職による個別療育が両方行われていること。	活動が固定化しないようにして月間プログラムを立てている。その中で前日のミーティングにてみんなで意見を出し合いかながら細かい活動内容を考えていくようにしている。 個別療育においても児童様に合わせた療育をしっかりと考えて療育を実施している。	新しい職員が入ってきてても療育の質を落とさないように職員全員が療育を回していくように指導をしていく。その中で多職種の強みを活かしながら療育を行っていく。
2	保護者様との家庭や事業所での様子・内容についての情報共有。	HUGシステムの連絡帳はもちろん、送迎時にしっかりとその日の様子を伝えるようにしている。状況に応じて電話でお話をさせていただくこともある。	日々の情報共有はもちろん、担当者会議も管理者や児発管だけではなく、ほかの職員も行けるように調整して、たくさん情報を得る機会を増やしていきたい。
3	活動プログラムの内容の充実。	保護者様からの困りごとに関してはミーティングの際に話し合いを行い、職員間で意見を出し合いながら療育内容に反映させるようにしている。日々のプログラムも色々な分野(感覚統合・言語・運動等)をしていくようにしている。	今後も引き続き保護者様からの困りごとをお聞きしながら療育内容に反映させたり、固定化しないように情報共有をしながら充実した療育プログラムを行っていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアル関係・避難訓練の周知。	実施はしているが、年に2回で半年に1度なので、毎日来所している児童様以外は曜日・日によっては参加が出来ないことがある。	週に2回など、たくさんの児童様が来所される日を選んでなるべく多くの児童様が参加出来るように検討していく。
2	保護者の方も参加出来る研修会の実施。	保護者会以外に研修等の実施が出来ていない。	専門職もいるため、職員による研修会等も今後実施出来ると事業所での取り組みや職員の考え方を伝えていると思う。その中で助言等も行っていけるとよい。
3	地域の方々(お子様)との交流が少ない。	他の園の児童様と関わる機会が出来ていない。地域のイベント等の参加も出来ていない。	外出支援等を通してイベントや活動に参加していく。